

## 赤穂発電所における排水流出の調査結果および当社の対応について

2022年8月16日

関西電力株式会社

当社は、7月26日、赤穂発電所において沈砂池から鉄分等を含む空気予熱器洗浄排水が海域へ流出していることを確認しました。

[\(2022年7月26日お知らせ済み\)](#)

その後、本件の発生経緯、原因について調査した結果は以下の通りです。

7月25日、空気予熱器洗浄作業に伴う排水が、排水処理装置への配管の亀裂から漏洩しました。当該作業を実施していた作業員は、土嚢の設置および移送用ポンプにて排水を回収し、排水処理系統への移送を実施しました。しかしながら、漏洩量がポンプの移送能力量を超え、排水が雨水側溝を経由して沈砂池に流入しました。沈砂池から海域へ放水するゲート弁を閉める操作を実施済みでしたが、ゲート弁に付着していた海棲生物によって生じた隙間から洗浄排水が海域へ流出してしまっただけです。

海域へ流出した排水の成分を分析したところ、水質汚濁防止法等の基準値を超過した結果を確認しました。本日、当社は兵庫県等に分析結果の報告を行いました。

このような事態を引き起こしてしまったことについて、重く受け止めており、改めて深くお詫び申し上げます。

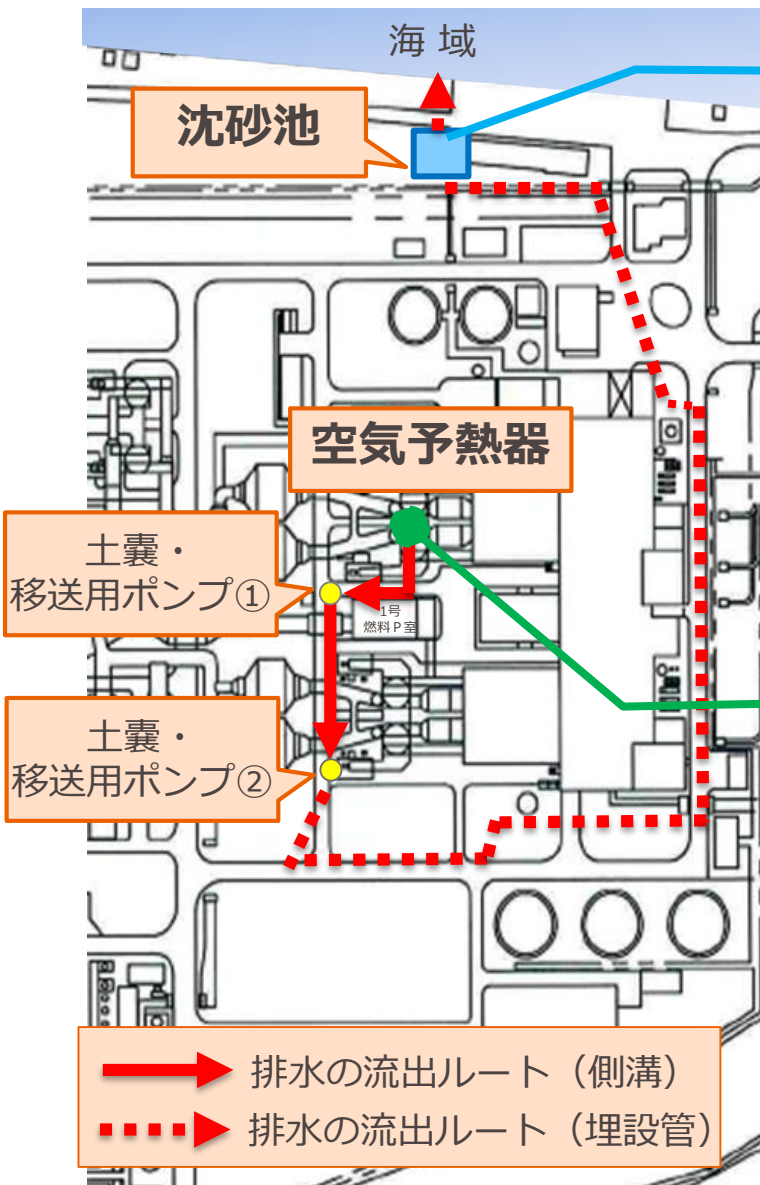
本件は、作業関係者の水質汚濁防止法等を遵守するためにとるべき行動の認識・判断の甘さと、排水処理系統以外へ排水が漏洩した場合の運用ルールが定まっていなかったことが原因と考えています。

当社は、今後、関係行政機関等の指示に従い適切に対応するとともに、関係法令の再教育や沈砂池への排水流入防止に関する運用ルールの策定などに取り組み、再発防止を徹底してまいります。

以上

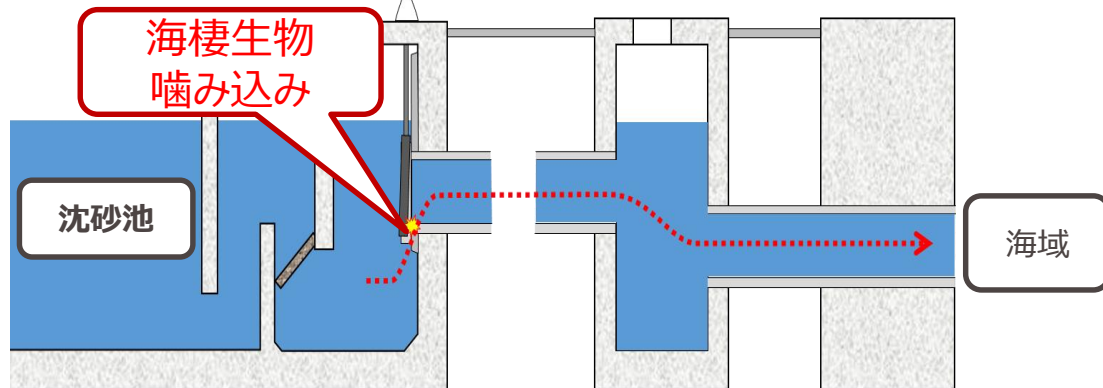
別紙：本件に関する調査結果等

## 1. 排水の流出ルート



### ゲート弁点検結果

ゲート弁に付着していた海棲生物を噛み込むことで隙間ができ、放水口から洗浄排水が海域へ流出。

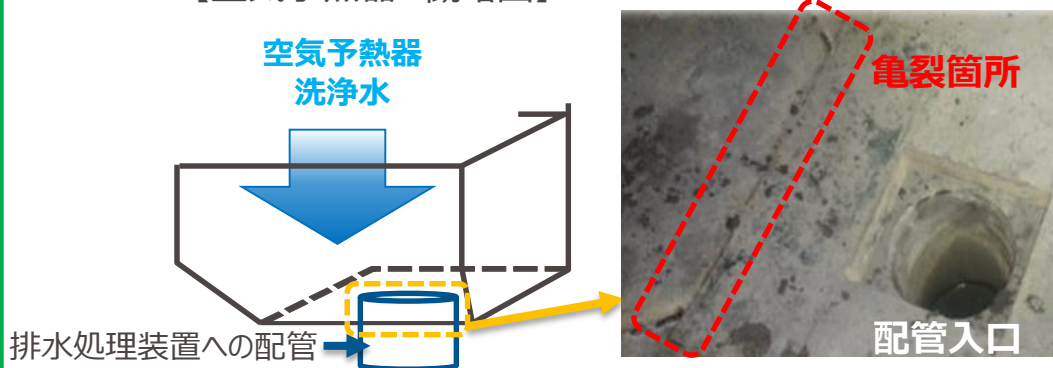


### 排水処理装置に送水する配管の点検結果

70 cm程度の亀裂を確認。当該亀裂から洗浄排水が漏洩。

【空気予熱器 概略図】

【亀裂状況】



## 2. 原因

- 洗浄排水が沈砂池に流入したにもかかわらず、作業を中断し、回収作業を行わなかった。
- 排水処理系統以外へ排水が漏洩した場合の運用ルールを定めていなかった。
- 沈砂池のゲート弁に海棲生物による隙間があった。

## 3. 再発防止対策

- 今回の事象について社内関係箇所に共有したうえで、発電所排水に係る関係法令等の再教育を実施し、意識レベルの向上を図る。
- 沈砂池への排水流入防止に関する運用ルールを定める。
- 沈砂池の排水ゲートに関し、点検周期を1回 / 4年から1回 / 2年の周期に見直す。

## 4. その他の対応

- 関係官庁の指示に従い適切に対応するとともに、引き続き周辺海域の水質分析を実施する。